

## 宇和島地区乾たけのこ生産者協議会に参加しませんか

近年、安価なタケノコや竹製品の輸入品等により経済的な魅力が失われ放置された竹林は、近接する森林等へ侵入拡大し、里山の荒廃を招き景観を損ね、水源かん養や土砂流出防止等、公益的機能の低下が懸念されています。こうした里山地域の放置竹林は県下で2千ヘクタールを超え、増加傾向にあり、抜本的な対策が喫緊の課題となっています。

このような中、宇和島地区のタケノコ生産者自らが声をあげ、地域の放置竹林改善と「乾たけのこ」生産を目的として、平成31年1月11日（金）9：30から南予森林組合津島支所2階大会議室で「宇和島地区乾たけのこ生産者協議会」の設立総会を開催し、新たに協議会を設立することと致しました。

今回取り組む「乾たけのこ」は、2メートル程度伸びた先端部分を食材に利用する穂先タケノコを乾燥するもので、伐ったタケノコ下部はその後枯死することから放置竹林の侵入・拡大を抑えることはもとより、竹林の適正な管理やタケノコの新たな利用が生まれ農林家の所得向上と中山間地域の産業創出に繋がります。

愛媛県下では、既に多くの方が「乾たけのこ」生産に取り組んでおられますが、同協議会では、

- 1 生産可能な竹林の把握及び整備
- 2 生産者の掘り起こし
- 3 生産基盤の整備
- 4 生産技術向上のための研修会開催

等の活動を予定しています。

また愛媛県でも、省力・効率的な竹林整備モデルの普及を目的に、南レク都市公園において、各種伐採方法による「竹林整備モデル事業」に取り組んでいます。

皆様、「宇和島地区乾たけのこ生産者協議会」にご参加いただき、みんなでいっしょに活動しませんか。詳細につきましては、愛媛県南予地方局森林林業課(TEL:0895-22-3163)までお問い合わせ下さい。

### 【職員による乾たけのこ生産実習の状況】



### 【南レク都市公園での竹林整備の状況】

